



# 高速しが

令和8年  
(2026)  
6月号

発行 滋賀県高速道路交通安全協議会：滋賀県高速道路交通警察隊

## 梅雨時期の運転は慎重に！

### 安全なドライブのためのポイント

#### 1 メンテナンスを確実に

《**タイヤの溝を確認する**》走行距離に比例し、タイヤは摩耗してタイヤの溝が浅くなることで水はけが悪くなりスリップの発生原因になります。

《**ワイパーの点検**》ワイパーのゴムは経年劣化し、雨の拭き取り不良の原因となり視界が悪くなります。

《**灯火類の点検**》視界や視認性を確保するためヘッドライトやブレーキランプ等の灯火を点検しましょう。

#### 2 安全運転を心がける

《**速度は控えめに**》雨に濡れた道路では、乾燥時より制動距離が長くなります。速度を控えて運転しましょう。

《**車間距離を保つ**》制動距離が長くなることを考慮して車間距離は十分にとりましょう。(目安は通常時の2倍)

《**急ブレーキは厳禁**》雨の日の道路は非常に滑りやすくなっているため、急ブレーキとならないように予め減速しましょう。

《**水たまりに注意**》車の轍や傾斜などには水たまりができやすく、特に高速走行時はハンドルを取られやすいので注意しましょう。

《**早めのライト点灯**》雨の日は薄暗く、前車の水しぶきで前方が見えにくくなります。また、自車の存在を知らせるためにもライトは早めに点灯しましょう。

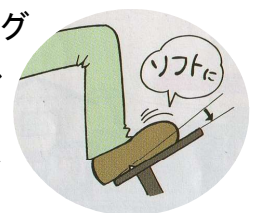


### ハイドロプレーニング現象に注意！

ハイドロプレーニング現象とは、轍など水が溜まった場所を走行すると、タイヤと路面の間に水が入り込み、タイヤが氷上を滑走するようになって、ハンドルやブレーキが利かなくなる現象です。

走行中にタイヤが浮くような感覚があれば、ハイドロプレーニング現象が発生したと判断し、ハンドルをしっかりと持ちアクセルを少しずつ戻してスピードを緩めタイヤのグリップの回復を待ちましょう。

慌てて急ハンドルを切ったり、急ブレーキを踏むと車がスピンして事故の原因となります。



# 自動二輪車の事故防止

自動二輪車（バイク）は、雨や風など天候による影響を受けやすく、事故が起きると重大事故に直結します。次のことに注意しながら安全走行に努めましょう。

## ライダーの高速走行時のポイント

### 1 速度を控え前方に注意して走行する

速度を出しすぎると、少しの凹凸であってもハンドルを取られやすく、またカーブを曲がりきれずに転倒したりガードレールに衝突する事故の原因となります。

### 2 周囲の車両の動きに注意する

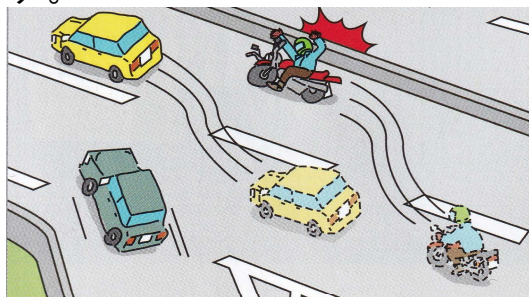
トラックの周囲では死角があるため特に注意し、自らが進路を変更するときや、合流部では流入車両の動きに特に注意しましょう。

### 3 渋滞車両間のすり抜けは危険が一杯

渋滞中の車両はドライバーが先を急ぎ、急な進路変更をすることがあります。車両間のすり抜けは急な進路変更に対応できずに衝突したり、ドアミラーに接触するなど事故の危険性が高くなります。

### 4 路肩走行をしない

高速道路の路肩は、道路の効用を保つためにある路線であり、道路管理者が通行するためのものです。交通違反になるので絶対にやめましょう。



## ライダーの走行前の基本

★ 乗車前には必ずバイクの点検整備を行いましょ。

★ ヘルメットのあごひもはしっかり締めましょ。

★ グローブ、ブーツ、長袖、長ズボンの着用しましょ。

命を守るため、胸部プロテクターなどを着用しましょ。

★ 悪天候の時は、速度を落として走行し、先を急がず無理せず、早めにSAやPAで早めに休みましょ。

